

位置別	メインフロー	サブフロー	注意・要点
1 1列目1枚目のパネル取付け	主桁等に4本のチェーンを取付ける (橋脚上または昇降足場作業)	チェーンクランプを取付ける ▼ 吊りチェーンをリングに通す	・クランプに先にチェーンを通して しまうとチェーンの落下のおそれあり
	4本のチェーンを一枚目のSKパネル にかけ、クランプで横ずれ防止処置を おこなう (橋脚上または昇降足場作業)	チェーンをSKパネルの親 フレームパイプに通す ▼ チェーンフックをチェーンの リンクにかける ▼ フックに脱落防止テープを巻く ※ ▼ チェーンがパイプの端になるよ うにして横ずれ防止の自在クラ ンプを取付ける (4箇所とも・チェーンの内側)	・チェーンは主桁か らのSKパネルの 下がり位置を考え 事前にチェーンへ のフック掛け位置 を確認しておく
	SKパネルにフレ止め処置(パネル の回転防止)を行い、パネルを 下ろす (橋脚上または昇降足場作業)	直交クランプでSKパネルの親 フレームパイプの中央付近に フレ止め単管を取付ける (パネル両側とも) ▼ 2名以上1組でパネル両側各2本 のチェーンを持ってパネルを静か に下ろす ▼ 鉄骨用クランプでフレ止め単管を 主桁のフランジに固定する	・自在クランプは絶 対に使わないこと ・フレ止め単管が桁 フランジに対し斜 めになる場合はフ ランジ下に2個以 上の鉄骨クラン プで単管を流して取 り付ける ・チェーン長さや部材 位置の再調整が必 要な場合は必ずSK パネルを一旦橋脚上 に回収して行う (絶対にパネルに 乗らない)
	一枚目のSKパネルの各部が正しく取付けられているか、もれがないか確認する(指差し確認推奨)		
橋脚等より一枚目のSKパネル に乗り移る (橋脚上→SKパネル上作業2名)	SKパネル上に乗る ▼ 安全带フックを通正な位置に 盛り替える (2丁掛け励行)	・飛び降りないこと	

2

1列目2枚目以降のパネル取付け（同列・進行方向）

一枚目のSKパネル上より2枚目のパネル用の吊りチェーンを主桁に取付ける（SKパネル上作業）

一枚目のSKパネルの端部から前方約30cmの位置にチェーンクランプを取付ける

チェーンクランプのリングにチェーンを通す

・チェーンの落下に注意

橋脚上作業員より2枚目のSKパネルの受け渡しをおこなう（橋脚上+SKパネル上作業）

パネルを2名で受取る

受取ったパネルを一枚目のパネル上に横向けに立てて持つ

・パネルを渡す側はジョイントの向きを合わせてから渡す

・受け取り側は自分の立ち位置を考えて受取る

吊りチェーンを2枚目のSKパネルにかける（SKパネル上作業）

吊りチェーンをSKパネルの布方向補強材（すき間のφ34パイプ）に通す

チェーンフックをチェーンのリンクにかける

・チェーンは主桁からのSKパネルの下がり位置を考え、事前にチェーンへのフック掛け位置を確認しておく

パネルを前方に押し出し・戻してジョイントを差し込む（SKパネル上作業）

SKパネルの左右2名でパネルを水平にし、ながら進行方向に押し出す

一枚目パネルの左右ジョイントより少し先まで押し出し挿入位置を合わせる。

パネルを引き戻す

・チェーン長さの再調整が必要な場合はパネル両側のジョイントを挿し、抜け止め・ガタ止めを完全に終えてから片方ずつ行なう

・チェーンのリンクがチェーンクランプリングの真ん中に乗らないようにかける（下図1）

ジョイントの抜け止め・ガタ止めをする（SKパネル上作業）

脱落防止ピンをパネル親フレームパイプの連結固定穴に一杯まで押し込む

ジョイント固定ボルトをレンチで締める

チェーンフックに脱落防止テープを巻く

・固定ボルトは締め過ぎ注意（クランプ締め程度が適正）

3

2 列目（横断方向）の 1 枚目のパネル取付け

1 列目 1 枚目の SK パネルに取付けてある横連結側のフレ止め単管を取外す（1 列目 SK パネル上作業）

パネル親フレームパイプのフレ止め単管の クランプを取外す

▼
フレ止め単管の鉄骨用クランプのクランプを緩め単管を取外す（鉄骨クランプは主桁のフランジに残しておくこと推奨）

- ・フレ止め単管は解体時には必要なので横連結しない部分は残しておくほうが良い
- ・鉄骨クランプを残すこと によって 目印になる

▼
1 列目 1 枚目の SK パネルに取付けてある ずれ止め用自在クランプを横連結用に用意する（1 列目 SK パネル上作業）

自在クランプを回しふたを下側にして開き、ボルトを立てておく

- ・ナットは適正位置まで緩めておく

▼
主桁に 2 列目 1 枚目のパネル用のチェーン 2 本を所定の位置に取付ける（パネル連結の反対側）（橋脚上作業）

チェーンクランプを取付ける
▼
吊りチェーンをリングに通す

- ・チェーンの落下に注意

▼
主桁に 2 列目 1 枚目のパネルにチェーンをかけ横ずれ防止処置をする（橋脚上作業）

チェーンを SK パネルの親フレームパイプに通す

▼
チェーンフックをチェーンのリンクにかける

▼
チェーンフックに脱落防止テープを巻く

▼
チェーンがパイプの端になるようにして横ずれ防止の自在クランプを取付ける（2 箇所とも・チェーンの内側）

- ・チェーンは主桁からの SK パネルの下がり位置を考え 事前にチェーンへのフック 掛け位置を確認しておく（1 列目と同じ高さになる ように）

▼
2 列目 1 枚目のパネルを橋脚から所定位置まで静かにおろす（渡す側は橋脚上作業）（受け側は 1 列目のパネル上作業）

2 名 1 組で 1 名はパネル片側 2 本のチェーンを持って、もう一名はパネルを持って静かに下ろす

▼
受け側はチェーンのない側の親フレームパイプを 1 列目自在クランプに合わせて載せる。

- ・渡す側は 2 名、受ける側は 2 名 または 1 名
- ・1 列目とレベルが大きくずれている場合はパネルを一旦戻してからチェーン調整（小さなずれは何枚か組み終わってから調整）

3
2列目（横断方向）の2枚目以降のパネル取付け

<p>1列目1枚目のパネルと2列目1枚目のパネルを側面で連結する (1列目のパネル上作業)</p>	<p>2個の自在クランプで親フレームパイプどうしを繋結する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クランプで連結するまでは絶対に2列目のパネルには乗らない
<p>取付けたSKパネルの各部が正しく取付けられているか、もれがないか確認する（指差し確認推奨）</p>		
<p>1列目のパネルより2列目1枚目のSKパネルに移動する (1列目→2列目移動作業)</p>	<p>2列目のSKパネル上に乗り移る</p> <p>安全帯フックを適正な位置に盛り替える (2丁掛け励行)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全帯を外して移動しないこと
<p>主桁にチェーンを所定の位置に取付ける (2列目パネル上作業)</p>	<p>チェーンクランプを取付ける</p> <p>吊りチェーンをリングに通す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの落下に注意
<p>橋脚上または1列目の作業員より次のSKパネルの受け渡しをおこなう (橋脚上+SKパネル上作業)</p>	<p>パネルを2名で受取る</p> <p>受取ったパネルを1枚目のパネル上に横向けに立てて持つ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルを渡す側はジョイントの向きを合わせてから渡す ・受け取り側は自分の立ち位置を考えて受取る
<p>吊りチェーンを次のSKパネルにかける（横連結反対側） (1枚前のSKパネル上作業)</p>	<p>吊りチェーンをSKパネルの横連結反対側の布方向補強材（すき間のφ34パイプ）に通す</p> <p>チェーンフックをチェーンのリングにかける</p> <p>フックに脱落防止テープを巻く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンのリンクがチェーンクランプリングの真ん中に乗らないようにかける（下図1）



- ❗ 作業は2名1組で連携して行なうので、お互いに声を掛け合い作業を行う。
- ❗ 1人の不安全行動はもう一人の生命も危険にさらす
- ❗ ジョイントの取付がまだ不完全な状態でパネルには絶対に乗らない。
- ❗ 不陸がでて、チェーンの長さ調整の必要が出た場合はある程度の枚数を取り付けてからでも部分調整が可能。ジョイントやクランプでまだしっかりと連結されていないパネルのチェーンは絶対に外さない・緩めない。

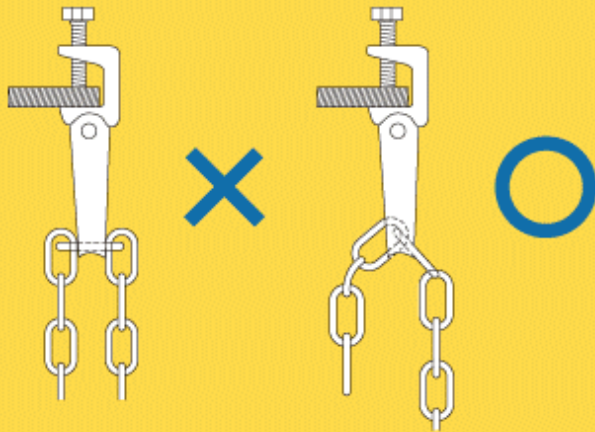


図1

※

